

事業計画の特徴

- 耕作放棄地を含めた農地に**営農型太陽光発電**を導入し、水産加工場等に電力を供給することで、**営農者の所得向上やエネルギー代金の域外への流出を防止**する
- シンボリックな本庁舎にソーラーカーポートやEV充電器、EV車を導入し、発電電力のモニタ表示により市民の再エネに対する理解を醸成する
- 再エネ計画の情報発信プロジェクトにより、省エネ、再エネ導入のメリットや支援制度を周知し導入を促進する

事業計画の概要（民間） 再エネ：5,949kW

取組（個人）	規模
太陽光発電設備の導入	・ 928kW
蓄電池の導入	・ 1,065kWh
取組（事業者）	規模
太陽光発電設備の導入	・ 2,403kW
蓄電池の導入	・ 1,066kWh
農地を活用した太陽光発電設備の導入	・ 487kW

事業計画の概要（公共） 再エネ：452kW

取組	規模
太陽光発電設備の導入	・ 452kW
蓄電池の導入	・ 57kWh
消防庁舎の新築ZEB、支所等の新築NearlyZEB	・ 2件
高効率空調機器の導入	・ 6件
高効率照明機器の導入	・ 4件
EVの導入	・ 6台
充電設備の導入	・ 12台
急速充電設備の導入	・ 1台

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	総事業費	交付金額	計画期間
4,270kW	55,685 t-CO2	31.5億円	7.1億円	令和5年度 ～ 令和10年度

取組のイメージ



営農型太陽光（49kW）によるアボカド栽培を実施